

10代のためのプレミアム・コンサート「はじめての演奏会オペラ～イタリア・オペラ編～」

【出演者プロフィール】

- アンドレア・バッティストーニ ANDREA BATTISTONI (指揮・お話し・演出)



アンドレア・バッティストーニ ©上野隆文

1987年ヴェローナ生まれ。アンドレア・バッティストーニは、国際的に頭角を現している若き才能であり、同世代の最も重要な指揮者の一人と評されている。2013年1月よりジェノヴァ・カルロ・フェリーチェ歌劇場の首席客演指揮者に、年間にオペラ2作品、交響曲公演2プログラムを指揮する3年契約で就任。2016年10月、東京フィルハーモニー交響楽団首席指揮者に就任。

東京では『ナブッコ』（二期会）等のオペラ、ローマ三部作等の交響曲プログラムで東京フィルを指揮し、そのカリスマと繊細な音楽性でセンセーションを巻き起こした。東京フィルとのコンサート形式『トゥーランドット』（2015年）、『イリス（あやめ）』（2016年）では批評家、聴衆両者に対し音楽界を牽引するスターとしての評価を確立。東京フィルとは日本コロムビア株式会社より5枚のCDを発表している。

注目すべきキャリアとしては、スカラ座、トリノ・レージョ劇場、カルロ・フェリーチェ劇場、ヴェニス・フェニーチェ劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、スウェーデン王立歌劇場、アレーナ・ディ・ヴェローナ、バイエルン国立歌劇場等と共に、東京フィル、スカラ・フィル、サンタ・チチリア国立アカデミー管、イスラエル・フィル、ベルリン・ドイツ・オペラ等世界的に最も著名なオーケストラ等とも多くの共演を重ねている。

今後の予定としては、ベルリン・ドイツ・オペラ、アレーナ・ディ・ヴェローナ、バイエルン州立歌劇場、トリノ・レージョ劇場、ネザーランド・オペラ、サンティアゴ市立劇場、シドニー・オペラハウス等への出演がある。

2017年には初の著書『マエストロ・バッティストーニの ぼくたちのクラシック音楽』（原題「Non è musica per vecchi」の日本語版）を音楽之友社より刊行。

Website <http://www.andreabattistoni.it/>

Facebook <https://www.facebook.com/Andrea-Battistoni-159320417463885/>

Twitter https://twitter.com/A_Battistoni

- 木下美穂子 MIHOKO KINOSHITA (ソプラノ)



木下美穂子 ソプラノ ©Yoshinobu Fukaya / aura.Y2

武蔵野音楽大学卒業。同大学院、二期会オペラスタジオ修了。オペラではバンクーバー・オペラ、ロイヤルアルバートホール、ソフィア国立歌劇場野外劇場、ピサ・ヴェルディ劇場等の『蝶々夫人』タイトルロールで出演し国際舞台での活躍の場を益々広げている。国内においても新国立劇場や東京二期会オペラ劇場、びわ湖ホールなどに出演を重ね、いま最も注目されるソプラノとして常に高い評価を得ている。ヒューストン在住。二期会会員

●村上敏明 TOSHIAKI MURAKAMI (テノール)



国立音楽大学卒業。2001年から文化庁在外研修員、04年から五島記念文化財団奨学生として渡伊。第13回F.アルバネーゼ国際声楽コンクール、第9回マダム・バタフライ世界コンクールグランプリ優勝をはじめ、15のコンクールで優勝・上位入賞を果たし、国内でも第40回日伊声楽コンカルソ第1位、第35回イタリア声楽コンカルソ・シエナ大賞など多数受賞。留学中、「リゴレット」「蝶々夫人」「イル・トロヴァトーレ」等にイタリア各地で出演。藤原歌劇団には、05年「ラ・トラヴィアータ」のアルフレードでデビュー以後「ラ・ボエーム」「仮面舞踏会」「トスカ」等のプリモ・テノールとして活躍を続けている。第15回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。藤原歌劇団団員。東京都出身。

●上江隼人 HAYATO KAMIE (バリトン)



東京藝術大学卒業。同大学院修了後、イタリアへ留学。五島記念文化賞受賞。06年ディマーロ(トレントィーノ)国際コンクール優勝。11年ヴェルディ・フェスティバル(パルマ王立歌劇場主催)「トロヴァトーレ」ルーナ伯爵では国際的評価を得た。国内では新国立劇場や日生劇場をはじめ数々の舞台に出演するほか、東京フィルハーモニー交響楽団など国内の主要オーケストラと共に演じ常に高い評価を得ている。ミラノ在住。二期会会員

●東京フィルハーモニー交響楽団 Tokyo Philharmonic Orchestra



1911年創立の日本で最も長い歴史を持つオーケストラ。メンバー約130名、シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。名誉音楽監督ジョン・ミンファン、首席指揮者アンドレア・バッティストーニ、特別客演指揮者はミハイル・プレトニヨフ。

Bunkamura オーチャードホール、東京オペラシティ コンサートホール、サントリーホールでの定期演奏会や「午後のコンサート」等の自主公演、新国立劇場等でのオペラ・バレエ演奏、『NHKニューイヤーオペラコンサート』『題名のない音楽会』『東急ジルベスター・コンサート』などの放送演奏、各地学校等での訪問コンサート等により、全国の音楽ファンに親しまれる存在として高水準の演奏活動とさまざまな教育的活動を展開している。

海外公演も積極的に行い、2014年3月にはアジア・欧米6か国を巡るワールド・ツアーを2015年12月には日韓国交正常化50周年を記念しソウルと東京の2都市でソウル・フィルハーモニー管弦楽団と合同演奏会を行い、国内外から高い評価と注目を集めた。

1989年からBunkamuraとフランチャイズ契約を結んでいる。また東京都文京区、千葉県千葉市、長野県軽井沢町、新潟県長岡市と事業提携を結び、各地域との教育的、創造的な文化交流を行っている。

●真鍋大度（ライゾマティクスリサーチ） DAITO MANABE（映像演出とお話）



1976年東京生まれ。東京理科大学理学部数学科、岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー（IAMAS）卒業。2006年Rhizomatiks 設立、2015年よりRhizomatiks の中でもR&D 的要素の強いプロジェクトを行うRhizomatiks Research を石橋素氏と共同主宰。プログラミングとインタラクションデザインを駆使して様々なジャンルのアーティストとコラボレーションプロジェクトを行う。米Apple 社のMac 誕生30周年スペシャルサイトにてジョン前田、ハンズ・ジマーを含む11人のキーパーソンの内の一人に選出されるなど国際的な評価も高い。

Web サイト：<http://www.daito.ws/>

●ライゾマティクスリサーチ Rhizomatiks Research（映像演出）



真鍋大度・石橋素主宰による技術と表現の新しい可能性を探求する部門。Rhizomatiks のなかでもメディアアート、データアートといった研究開発要素の強いプロジェクトを中心に扱い、まだ見たことのないモノ・コトを世の中に発表していく。ハード・ソフトの開発から、オペレーションまで、プロジェクトにおける全ての工程に責任を持つ。また、人とテクノロジーの関係について研究し、様々なクリエイターとのコラボレーションワークを実践していく。

Web サイト：<https://research.rhizomatiks.com/>

●朝岡 聰 SATOSHI ASAOKA（ナビゲーター）



横浜生まれ。テレビ朝日アナウンサーとして「ニュースステーション」「はなきんデータランド」各種スポーツ中継等で活躍。1995年にフリーとなってからはテレビ・ラジオ・CMのほか、クラシックコンサートの企画構成司会を担当するコンサート・ソムリエとしてフィールドを広げている。国内の多数のオーケストラと共に演奏するほか、とくにオペラと古楽ではユニークな評論が注目を集めたり、クラシックの語り部として活躍中。最近は、「語り」をモチーフにして他アーティストとの共演をめざしたプロデュースコンサートにも力を入れている。